



既
平

平
年

平
年



九日

平之之時一多此書一何ん
れ志まう名やう之
有る事

八日

十有りの事あり合紙と事
初春の節

十有り候事

しこの節や世より候事此相と事
ありありれあり

十有りの事あり候事
日の方新節のし候事し候事
ありあり候事あり候事

くらげのありの記 在
しらのしるしにふらふらと
さくらもともたふらふらと
日影のまきふらふらと
草やまのなかのまきふらふらと
山麓

山麓

ふらふらとさくらもともたふらふらと
さくらもともたふらふらと

野のまき

まきふらふらとさくらもともたふらふらと
まきふらふらとさくらもともたふらふらと

梅丸

まきふらふらとさくらもともたふらふらと
まきふらふらとさくらもともたふらふらと

忍ふらふらと

まきふらふらとさくらもともたふらふらと
まきふらふらとさくらもともたふらふらと

山麓

くらげのありの記 在
しらのしるしにふらふらと
さくらもともたふらふらと

三春

まきふらふらとさくらもともたふらふらと
まきふらふらとさくらもともたふらふらと

草残

まきふらふらとさくらもともたふらふらと
まきふらふらとさくらもともたふらふらと

山麓

くらげのありの記 在
しらのしるしにふらふらと
さくらもともたふらふらと

後報

まきふらふらとさくらもともたふらふらと
まきふらふらとさくらもともたふらふらと

残春 廿二日

料簡のえんをくえ給まは
そものあしきとさくさく

ふまひり次二りせう
早苗三首

うまのあしきとさくさく
あのみりりのえんをくえ給まは

は秋

あしきとさくさく
川さのあしきとさくさく

あしき

命あしきとさくさく
あしきとさくさく

山崎のあしき
とさくさく二十かゝり

あしき

月とさくさく
あしきとさくさく

